

令和7年度第5回東大和市社会教育委員会議要録

1 会議日時

令和7年9月16日（火）午前10時から11時46分まで

2 会議場所

中央公民館301学習室

3 出席者

（1）社会教育委員（7名）

池田議長、外池副議長、大島委員、杉本委員、橋本委員、半田委員、森脇委員

（2）事務局（3名）

廣瀬生涯学習課長、神山生涯学習課文化生涯学習担当係長、荻沢生涯学習課主事

4 欠席者（2名）

藤井委員、才郷委員

5 会議の公開・非公開

公開

6 傍聴者

0名

7 議題

（1）東大和市民生委員推薦会委員の推薦について

（2）研究テーマについて

（3）その他

8 会議資料

資料：各委員から提出のあった提言原稿

資料：東大和市民生委員推薦会委員の推薦について（依頼）

資料：東大和市外国人人口の推移

資料：コミュニティ防災教育推進事業について

資料：令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会資料（抜粋）

資料：第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会開催要項

9 議事内容

（1）議題1：東大和市民生委員推薦会委員の推薦について

現民生委員推薦会委員の森脇委員より、推薦委員の活動内容について説明があった。
議長より半田委員を推薦する提案があり、拍手をもって了承された。

(2) 議題2：研究テーマについて

①外国人共生について：

外国人人口の推移について、事務局が資料に基づき説明した（直近10年間で微増）。学校教育の観点から、多文化共生や教育的配慮が必要との意見が挙げられた（例：学校における外国人いじめ防止）。

②高齢者の防災・防犯対策の提言：

隣近所のつながりを基盤にした防災・防犯対策の提案があった。高齢者の火災リスクの削減や特殊詐欺被害防止に向けた対策として、情報収集の強化および隣近所レベルでの注意・確認体制の構築の必要性が挙げられた。

自治会加入率低下の現状を踏まえ、一人暮らしの高齢者が、市や警察が発信する情報を効果的に取得できる環境作りの必要性が挙げられた。

③高齢者コミュニティの改善：

清原にある高齢者在宅サービスセンターの事例を参考に、高齢者が生き生きと暮らせる環境作りについて提案があった。

運動機会や趣味が充実した場を提供すること及び一人暮らしの高齢者への支援が課題であるという意見が共有された。

④学校施設活用：

学校を地域コミュニティの拠点として活用する提案があった。廃校や現存する校舎を活用した新たな地域施設モデルの可能性が議論された（例：スタートアップ企業誘致、地域活動拠点化）。

校舎建替えの場合は、学校内に公民館、老人施設、児童館等を入れた複合施設とすることで、地域コミュニティ活性化につながるという意見があった。

⑤中高年の引きこもりに関する提言の取扱いについて：

提言の方向性が類似している高齢者の防災・防犯対策の提言に組み込むこととする。

(3) 議題3：その他

①ブロック研修会や関東甲信越静大会について：

事務局より、複数研修の開催予定が説明され、委員へ出席を依頼した。

ア 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会

日程：令和7年11月29日（土）

場所：国分寺市ひかりプラザ

イ 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会

日程：令和7年12月13日（土）

場所：小金井宮地楽器ホール 大ホール

ウ 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会

日程：令和7年11月20日（木）※1日目のみ参加

場所：横浜市関内ホール

出欠の確認をし、3委員（池田議長、杉本委員及び森脇委員）が出席予定。

②まとめ（副議長）

本会議では、地域防災・防犯、防災コミュニティ構築、多文化共生の現状と課題、高齢者支援、学校施設活用など多岐にわたる課題に関して意見交換がなされ、そのそれぞれが隣近所レベルにおける地域コミュニティ作りが重要であるという方向性が確認された。引き続き各自提言を精査し、次回会議に臨みたい。

10 今後の予定

各自研究テーマの精査を進め、年内に各自提言を完成させる。その後、全体での調整を経て令和7年度第11回会議（令和8年3月）で校了とし、印刷・配布をする。